

# まほるば



第57号  
2006年3月発行

## 弘前病院の理念

わたしたちは、医の倫理と病院としての使命に基づき患者さまの生命と人権を尊重し  
良質かつ適切な医療を提供するため、最善の努力をします

## 【運営方針】

1. 十分な説明と理解・同意に基づく医療を行い、患者さまが納得される結果を得るために最善をつくします
2. 皆さまの立場を理解し、プライバシーを尊重し、感謝の心で、常に良質で、清潔で、安全な医療を行います
3. 職員一人一人が、常に新しい知識と技術の習得に努め、健全で効果的な経営を目指します
4. 臨床研究と教育・研修、情報発信など地域に開かれた病院を目指します
5. 時代に求められる医療体制の充実と療養にふさわしい環境の整備を目指し、全職員が研鑽します

## 弘前大学医学部長来院（就任挨拶）



弘前大学医学部長に新しく就任された佐藤敬教授が2月28日（火）に来院され、五十嵐院長と意見交換を行いました。

佐藤教授からは、医学教育のあり方や青森県内の医

師不足への対応、当院への協力要請などがありました。

これに対して五十嵐院長は、医学生の現場の実地教育指導や卒後研修医の積極的な受け入れを表明しました。

更に、昨年から弘前大学と当院と合同で開催している「緊急被ばく医療対策会議」で象徴されるように、それぞれの施設の特徴を発揮して地域の医療に貢献して行くことを確認しました。

管理課長 齋藤 侯智

## ひなまつりおゆうぎ会 — 風の子保育園(院内保育所) —



3月3日（金）に開催した「ひなまつりおゆうぎ会」では、入院患者さまを始めたくさんの方にお集まりいただきありがとうございました。

当日は、かわいい“はんでん姿”の2～3歳児10名による「おすしのピクニック」でプログラムが始まり、4歳児以上13名による人気曲「青春アミーゴ」、「ムシキングサンバ」、「ワンナイトカーニバル」のかっこいいダンス、力を合わせて引っ張った「大きなかぶ」の劇、会場の皆さまと大合唱した「うれしいひなまつり」まで、たくさんのあたたかい拍手をいただくことができました。

風の子保育園は、昭和50年に開設され、今年で32

年目を迎えることになりました。開園当初、0歳児だった園児が昨年3人も父親や母親となって風の子保育園に子どもと帰ってきてくれました。親子二代にわたって保育することをとても嬉しく思い、私たちの励みとなっています。

今回、子どもたちの元気いっぱいのエネルギーを私たちだけでなく、皆さまにお届けできたことも嬉しいことです。本当に楽しい時間をいただきありがとうございました。

来年度も頑張りたいと思いますので、よろしく願います。

園長 諏訪 栄子

## 市民講座／白内障手術・眼内レンズ挿入術



白内障とは、眼内にある凸レンズ状の水晶体が混濁した状態を言います。水晶体は、本来透明な組織で、眼外からの光はここを通過して網膜に到達して物を見ることとなります。本来透明な水晶体が混濁すると、その程度にもよるが光が眼内に入りにくくなり、視力が低下します。一旦混濁した水晶体は、現在では薬物療法で透明になることはありません。そこで手術となります。

白内障には、原因により、先天性、外傷性等種々あるが、大部分は加齢により水晶体が混濁してくる

老人性白内障です。我が国では年間約90万眼が手術していると推定されているが、高齢化社会をむかえて益々手術が増加するものと思われます。

手術方法も小生が医師になって以来、何度か変わってきたが、コンピュータ技術の発展に伴う機械・器具の飛躍的な進歩と手術理論の進化があり、現在では殆どの手術は眼内レンズ挿入術が行われ、以前のように手術後に分厚い凸レンズの眼鏡は必要なくなりました。当院も同様で簡単に言うと、超音波により水晶体の混濁部分を細かく砕き、同時に吸引し、その後人工レンズ（眼内レンズ）を本来水晶体があった部分に挿入するという方法です。これにより従来より創口が小さくてすみ、時間も短縮され、術後の安静も以前程嚴重ではなくなってきました。

患者さまにとっては大変良いことづくめであるが、何しろ機械・器具の設備投資が膨大であり、病院側は大変な思いをしているようです。



眼科医長 田中 洋

## 『ひな祭り』豆知識

3月といえば、女の子が主役の「ひな祭り」ですが、知っているようで、意外と知らないものです。

「ひな祭り」は、3月初めの巳の日に、人形（ひとがた）を用いて、災いを払うために、水辺でみそぎやお祓いを行った「上巳節（じょうしのせつ）」が起源とされています。3月3日の行事として定着したのは、奈良時代の頃のようにです。また、平安時代、幼女が小さな人形で遊ぶことを「ひいな遊び」と言いました。やがて、江戸時代になると、この二つが結びつき、現在のような「ひな祭り」へと発展しました。

日本各地には有名な「ひな祭り」がありますが、中でも圧巻なのが千葉県勝浦市の「かつうらビッグひな祭り」です。市内各所には約2万體以上の雛人形が飾られ、遠見岬（とみさき）神社の緋毛氈を敷き詰めた60段の石段には、1,200體もの人形が飾られるそうです。弘前と同じ城下町、山形県鶴岡市の「鶴



岡雛物語」では、かつて北前船で京から運ばれた雅びな雛人形や雛道具が見られるそうです。

昨年より、当院の母子医療センターにも雛人形がお目見えしました。上品なお顔立ち、一度ご覧下さい。

庶務係 工藤 真淑

# 外来診療一覽

## ◆外来医師診療一覽表 (H18年3月1日現在)

診療科		月	火	水	木	金
内科		人見博康	小沢一浩	人見博康	小沢一浩	小沢一浩
呼吸器科		山本勝丸	中川英之	中川英之	山本勝丸	中川英之
消化器科		佐藤年信 吉谷元	佐藤年信 中畑元	佐藤年信 吉谷元	中畑元 (吉谷元)	佐藤年信 中畑元
小児科		杉本和彦 野村由美子 (佐藤啓)	野村由美子 遠藤泰史	杉本和彦 神田進啓 (佐藤啓)	神田進史 遠藤泰	野村由美子 杉本和彦 佐藤啓
外科		山中祐治 木村寛	高橋克郎 三上勝也	横山昌樹 山中祐治	横山昌樹 高橋克郎	三上勝也 木村寛
整形外科	午前	柿崎寛成 佐々木資成 近江洋嗣	柿崎寛卓 菅原卓	佐々木資成 田中大	佐々木資成 大鹿周佐	柿崎寛大 田中寛
	午後	/	/	/	/	柿崎寛
脳神経外科		/	/	木村正英	/	/
皮膚科	午前	鳴海博美 間山淳	鳴海博美 間山淳	鳴海博美 間山淳	鳴海博美 間山淳	鳴海博美 間山淳
	午後	間山淳	/	鳴海博美	/	間山淳
泌尿器科		橋本安弘	橋本安弘	橋本安弘	橋本安弘	橋本安弘
産婦人科		真鍋麻美 葛西亜希子	佐藤春夫 葛西亜希子	真鍋麻美 葛西亜希子	●妊婦検診	佐藤春夫 真鍋麻美
眼科	午前	蒔苗順義	蒔苗順義	田中洋	蒔苗順義	田中洋
	午後	蒔苗順義	/	/	蒔苗順義	/
耳鼻咽喉科		黒田令子 阿部尚央	黒田令子 阿部尚央	●手術	黒田令子 阿部尚央	黒田令子 阿部尚央
放射線科	診断	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄
	治療	/	阿部由直 (午後)	/	/	/
麻酔科		●手術	高澤鞆子 工藤明	●手術	高澤鞆子 工藤明	●手術

※学会、出張などにより担当医師が変わる場合があります。

## 第51回生卒業式 —— 附属看護学校 ——

平成18年3月7日(火)、澄み渡る空のもと、第51回生の卒業式が行われました。

式では、五十嵐学校長より50名の卒業生一人ひとりに卒業証書が授与されました。そして、学校長の式辞を始めご来賓の方々から温かいお言葉をいただき、看護を志す者として、そして社会人としての決意を新たにし巣立って行きました。

51回生は、この3年間で多くのことを学び、そして悩み、様々な不安を抱えながらも、お互いに支え合い、協力しながら大きく成長することができたと思います。これからは各々の道に進みますが、多くの先輩方と同様に優秀な看護師として活躍してくれるものと思います。また、当校で学んだ経験を実践

に活かし、自分の人生を切り開いて行ってくれるものと信じています。

そして、これまで51回生を温かく見守り、様々な面からご支援いただきました皆様方に心より御礼申し上げます。



看護学校 鈴木理左季

## 職場紹介 (地域医療連携室)

「地域医療連携室」をご紹介します。

地域医療連携室は、地域医療連携室長（副院長兼務）、地域医療連携係長（算定・病歴係長兼務）、地域医療連携係主任、医療ソーシャルワーカーの4名で構成されており、主に紹介患者と新患予約の受付業務や相談業務などを行っています。

2月13日から紹介患者と新患予約の受付業務を本格的に開始しました。

患者さまにスムーズに受診していただけるように、院内スタッフの協力を得ながら努めています。受診後は、各診療科からの診療情報等を紹介元医療機関に返信し、医療機関との連携を図っています。

また、相談業務については、紹介患者さまにかかわらず、患者さま、ご家族、医療スタッフの必要に

応じた福祉制度の利用や医療費についての相談・情報提供、転院・施設入所などの連絡調整を行っています。経済的・社会的な心配事のご相談にのり、安心して患者さまに治療していただけるよう支援してまいります。

地域医療連携室は、他医療機関や院内のスタッフとの連携のもと、地域に根ざした医療連携を目指しています。

今度ともよろしく願います。

医療社会事業専門員 小林 陽子



## ふるさと紹介 わが町自慢／函館



私の生まれ育った町函館、中島町を紹介します。

観光地函館は、海・山があり、お寺・教会・外人墓地などが元町周辺に集中しています。市街地にはトラピスチヌ修道院（女性）、トラピスト修道院（男性）があり、観光スポットになっています。

函館近郊には漁港も多数あり、魚介類は新鮮なものが食べられます。函館と言えば、“いか”が代表され、いか踊り（夏祭り）が市内を二日間踊り歩きます。子供から大人まで、幅広い年齢層の人々が参加して楽しんでいます。

函館にいた頃、7月～9月は勤務終了後に船で函

館山の裏あたりにいか釣りに行っていました。

釣りたてのいかを船上でさばいて食べるのは、また格別なおいしさがあります。この時ばかりは“いか”が可哀想などとは露程も思わず、ただ食べたい一心でした。

また、観光の目玉でもある市場が有名です。函館駅の隣にある「朝市」、新川町にある「自由市場」、中島町にある「中島廉売」です。中島廉売は、町内の市道を日曜日以外は14時～18時まで交通規制をして、自由に買い物ができます。各種イベント（廉売祭り・よさこい祭りなど）が開催され、いか踊りも見る事ができます。町民は大半が廉売で商売をしている人々です。若い人達は少ないですが、隣近所の面倒を見たり、人情味に溢れている町です。

皆さん、函館に遊びに来て下さい。徒歩でゆっくり見て回ると新しい発見もあると思います。

西1病棟看護師長 安陵 泰子

## 川 柳 (今月の作品)

雪道で ころんで再び 車イス  
注射器へ 痛くないよと 嘘を云え  
病告知 粉飾決算 かも知れぬ

(福井 希夫)

(恋野 泣子)

(山谷 繁)

※ 掲載した作品は、広報誌編集委員会を選出したものです

## 募集のお知らせ (編集部)

◆ 「川柳」を募集しています。応募される方は、備え付けの箱に入れて下さい。

発行元 独立行政法人国立病院機構弘前病院  
Hirosaki National Hospital  
責任者 副院長 佐藤 年信

〒036-8545

弘前市大字富野町1番地

TEL0172-32-4311 FAX0172-33-8614

ホームページ <http://www.hosp.go.jp/~hirosaki/>